

シネマパラダイス

美浦村企画財政課

林 浩子



記憶の糸を遠くたどって行くと、その映像はくっきりと心に浮かびあがる。白黒の画面、幼い少女、井戸そして水…。小学校6年生だった私の心を感動で震えさせたのは、映画『奇跡の人』であった。あの時受けた衝撃にも似た、胸がしめつけられる様な思いは、とにかくどう表現して良いかわからない。ヘレン・ケラーの伝記は読んでいたので内容は知っていたが、私はもうすっかり映画の中に入ってしまったに違いない。涙でぐちゃぐちゃの顔で、しばらくは茫然としていたのを覚えている。

それ以来、私は映画を見るのが好きになった。といっても、有名な外国俳優の名前も知らないし、何本もの映画を見ているわけでもないので、映画ファンとまではいかないのだが……。

映画は暗闇の中の祭りである。という日本の名監督の言葉通り、あの臨場感や迫力はテレビでは味わう事が出来ない。また、現実では絶対に有り得ない事が起こってハッピーエンドになったり、素敵な偶然が待っていたり、様々な非現実的な世界へ導いてくれる。また、映画の中で時折飛び出す洒落たお喋りも、私が楽しみにしている一つである。勿論、これは外国映画に限られるが、日本人には照れくさくて言えない様な事をすらすらとスマートに、それもさりげなく言ってのける。そうした自分のまわりでは経験出来ない事を映画の中で感じられ、ライフスタイルや価値観の違いなどを改めて痛感したりもする。

思えば自分は、人間が単純にできているのか、その気になりやすいたちなのか、映画を見ているとすぐに主人公の気持ちになって一緒に空を飛ん

だり、笑ったり、泣いたりしてしまう。高倉健のやくざ映画を見た後、肩をいからせて映画館を出て行く人の気持ちがよくわかるのである。自分自身の日頃の生活が比較的単調であり、仕事も超現実的で想像性がないものであるからこそ、私は映画の主人公になりたがってしまうのかも知れない。ある意味では、それは現実逃避なのだろうか？

しかし、自分のストレス解消法を知っていて、それが心の栄養剤になっていれば精神衛生上とても健康的だし、私の場合、ストレスがたまって重苦しさを感じたら良い映画を探して見れば解消するのだから、いたって簡単である。

これからも素晴らしい映画をたくさん見て、心の中の写真のないアルバムに飾っておきたい。ただ、どんな素敵なか映画でも日々を重ねていくうちに色あせてしまうものだと思う。それでも、いつしか心の中ではもうセピア色になってしまった映像が、ふと頭の中をかけぬけ、映画の主人公になりきって、ドキドキ、ワクワクしている自分をなつかしく思い出す時があるかも知れない。



【新着資料案内】

この資料は、平成2年3月中に行政情報センター・統計資料コーナーに到着した主なものです。ご利用下さい。

行政情報センター 本庁舎地下1階 TEL 0292-21-8111(内線2238・2239)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
中央省庁関係			
平成元年版 青少年白書	総務省	昭和63年度 老人等医療費支給制度事業状況	医療福祉課
日本統計 平成元年	"	昭和63年度 国民年金事業概要	国民年金課
えせ同和行為排除のために 昭和63年3月	"	地域文化創造のため 県民の文化意識調査結果報告書	県民生活課
私立学校の財務状況に関する調査報告書	文部省	昭和63年度 衛生行政の概要	医務課
昭和62会計年度	"	飼料作物耕種基準 平成元年12月	改良普及課
わが国女子の世代結婚表:1950~87年	厚生省	第13回 全国育樹祭 皇太子殿下行啓記念誌	林政課
漁業・養殖業生産統計年報 昭和63年	農林水産省	昭和63年度 全国道路交通情勢調査成果表	道路維持課
作物統計 昭和63年度	"	昭和63年 住宅需要実態調査結果報告 (全県版)(ブロック版)	住宅課
関東の畜産統計(平成元年)	関東農政局	県内市町村関係	
茨城県漁業の動向 平成元年度付、昭和63年茨城県農林水産統計年報(水産編)	"	水と緑に囲まれた「文化の香り高い田園都市…新利根村」をめざして 第2次新利根村総合計画、後期基本計画	新利根村
平成元年版 運輸白書	運輸省	都道府県関係	
平成元年版 都市交通年報	運輸省地域交通局	昭和63年度 住宅統計調査結果の概要	栃木県
郵政行政統計年報 昭和63年度保険年金編	郵政省	昭和62年度 地域別住民所得推計結果概要	"
昭和63年度 関東郵政局統計年報	関東郵政局	昭和62年度 群馬の県民経済計算	群馬県
公共施設状況調 平成元年版	自治省	昭和63年 住宅統計調査結果の概要	"
民間給与の実態 —平成元年職種別民間給与実態調査の結果—	人事院給与局	平成元年 商業統計調査結果速報 (一般飲食店)	"
科学技術白書 平成元年版	科学技術庁	平成元年 埼玉県の商業(一般飲食店)	埼玉県
茨城県関係			
平成2年第1回茨城県議会定例会議案 ①	財政課	昭和63年度 県民経済計算早期推計結果	"
平成2年度予算に関する説明書 ②	"	第8次 漁業センサス結果概要	千葉県
平成2年第1回茨城県議会定例会議案概要説明書 ③	"	学校保健統計調査結果概要 平成元年度	東京都
平成2年第1回茨城県議会定例会議案概要説明書(第2級) ④	"	東京都行政資料集録 昭和63年度	"
平成元年度予算に関する説明書(第2級) ⑤	"	公社・会社・団体等関係	
平成2年第1回茨城県議会定例会議案概要説明書(第2級) ⑥	"	地方自治関係雑誌文献索引(1989年版 その2)	財特別区協議会
平成2年第1回茨城県議会定例会議案概要説明書(第3級) ⑦	"	市区町村別軽自動車車両数 平成元年3月末現在	全国軽自動車協会連合会
平成2年第1回茨城県議会定例会議案概要説明書 ⑧	"	世界各國要覧 1990	二宮書店
鹿島開発公共事業実績書 平成元年10月	県央・鹿行振興課	資料目録追録(昭和63年度版)	大阪市立大学 都市問題資料センター
昭和62年度 茨城県県民経済計算結果	統計課	シンポジウム 東京一極集中を考える 平成元年3月	"
茨城の工業 (昭和63年工業統計調査結果報告書)	"	シンポジウム 都市と緑 平成2年1月	"
災害救助の手引き 平成2年1月	社会福祉課		

経済動向

国内の動き

● 円安、長期化の様相

円の下落が長期化の様相を強めている。円の下落傾向に当面変わりないと市場がみている最大の原因は、日本の資本流出。経常黒字が縮少する一方で、不動産投資など海外への直接投資が急増している。日本の構造的なカネ余り現

象が続く限り、「資本逃避」ともいえる日本からのカネの流出は止まらない。市場のドル需給でみれば大きくドル不足に傾き、ドル買いが勝る構図が出来あがっているためである。(日経 3月13日付)

● 設備投資計画、変更なし

株式相場の急落を背景とするトリプル安傾向に依然歯止めがかかっていないが、民間設備投資動向を左右する電力、鉄鋼、自動車、電気などの主力産業界では、今のところ、90年度の高水準の設備投資計画について「見直す必要はない」とする企業がほとんどだ。今年後半以後はトリプル安

の影響があらわれ、企業の資金調達力や高額品を中心とした個人消費の勢いが鈍化することを懸念しているものの、長期的な経営戦略として「合理化改善や新製品研究、新設備導入などは続けていく」としているからだ。

(日経 3月23日付)

● 公示地価、二重構造の地価連鎖

大阪、近畿圏の急騰と地方都市や周辺地域への上昇拡散、そして東京圏の再上昇——ことしの公示地価はこの3点に特徴づけられる。上昇率が前年は30%台、ことしは50%を超えた大阪圏の動きは、87~88年の公示地価に表われた東京の地価高騰の再現ともいえるし、地方中核都市での値上

がりも、地価上昇の地方への飛び火が防げなかったことを示している。また東京圏の再上昇は次の高騰の波の到来につながりかねず、地価が全国で連鎖的に上昇する実態が明らかになった。(日経 3月23日付)

県内の動き

● 「頭脳センター」、民間研究部門集積を支援

頭脳立地法の適用に基づき茨城県などが県北の常陸那珂地区に設置する第三セクターの産業支援基盤施設(いわゆる「頭脳センター」)の内容が固まった。国際化や情報化などの進展に対応して中小企業を中心とした製造業の2.5次

産業化を進めるとともに、産業の頭脳部分に当たる民間企業の研究部門などの集積を支援する。茨城ではこの種の施設はつくば研究支援センターに次いで2ヶ所目。頭脳立地法に基づく施設としては初めて。(日経 3月14日付)

● 茨城へ工場進出148件

茨城県内への企業進出が依然として高水準を続けている。茨城県が3月17日発表した平成元年の県内工場・研究所立地動向(敷地面積1000m²以上)によると、立地件数は148件で関東通産局管内(1都10県)中3位、敷地面積は289.9ha

で1位となった。首都圏にありながら地価が安く、常磐自動車道の整備や特急「スーパーひたち」の登場で都心への時間が短縮していることなどが人気の理由とみられる。(日経 3月18日付)